



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日  
東

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所  
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,761	△2.5	△79	—	△47	—	△33	—
2022年3月期第2四半期	3,856	—	70	△34.8	96	△51.1	69	△48.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 27百万円(△80.6%) 2022年3月期第2四半期 139百万円(△26.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△18.41	—
2022年3月期第2四半期	38.15	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,695	7,533	77.1
2022年3月期	9,579	7,551	78.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,471百万円 2022年3月期 7,496百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	2.1	220	7.1	280	4.1	210	7.0	114.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	1,876,588株	2022年3月期	1,876,588株
2023年3月期2Q	41,675株	2022年3月期	49,388株
2023年3月期2Q	1,830,160株	2022年3月期2Q	1,821,851株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による活動制限も徐々に緩和されてきており、停滞していた景気の回復が期待される状況となりました。一方で、ウクライナ情勢に起因する原油価格や原材料価格の高騰、日米の金融政策の違いを主因とした急速な円安の進行など先行き不透明な状況が続いております。また、新型コロナウイルス感染症については第7波の終息傾向から経済活動の再開へシフトしてきておりますが、変異株の感染拡大による第8波への懸念から予断を許さない状況が続いております。

食品業界におきましては、小麦・油脂の世界的な高騰、原油価格の高騰による包装材料や物流費など各種コストは円安とも重なって一段と上昇しており、価格改定を実施する企業が相次いでおります。そのため、消費者の節約意識はさらに高まっております。それに加えて、安全・安心への関心は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められております。

このような状況のなか、経営面では当社グループでも、主要原料である輸入大豆の価格が高止まりしているうえ、原油価格、電力料、燃料の高騰、円安の急速な進行もあり前年に続き凍豆腐の価格改定を2022年10月1日より行わざるを得ない状況となりました。品質面では、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000のバージョン5.1の追加要求事項をクリアするなど、一層の向上を図っております。さらに、合理化、省エネルギー、品質向上のため継続的かつ積極的に設備投資を行うとともに、SDGsに沿った取り組みを引き続き推進しております。具体的には、プラスチック削減、紙容器の森林認証素材使用の推進、健康経営優良法人の継続認定などを計画・実施しており、当社の経営姿勢とSDGsへの取り組みについて第三者機関及び金融機関にて評価を受ける融資手法であるポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行することができました。なお、新型コロナウイルス感染症への対応については、状況に応じた感染予防対策を講じており、市場への円滑な商品提供に万全を期しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、営業活動の制限は新型コロナウイルス感染症予防措置緩和により段階的に解除されているものの、売上高は、37億6千1百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。利益面では、引き続き製造コストの低減や経費の削減などを図ってまいりましたが、売上高の減少やエネルギー価格の高騰などにより営業損失は7千9百万円（前年同四半期は7千万円の利益）、経常損失は4千7百万円（同9千6百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3千3百万円（同6千9百万円の利益）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

#### [凍豆腐]

凍豆腐では、需要が微減傾向にある市場の拡大・活性化を図るべく他メーカーとコラボレーションしたインスタグラムキャンペーンを実施してまいりました。また、業界団体と協調し肉様の食感がある凍豆腐を元祖大豆ミートとして訴求するPR活動などを行ってまいりました。しかし、売上高は、値上げによる販売数量減少の影響もあり前期を下回る、16億8千7百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。需要喚起の一環として今秋には、凍豆腐の従来のイメージを脱却した斬新な商品形態として、カップにお湯を注ぐだけの即食タイプの「TOPURO（トプロ）」を発売の予定です。なお、前述の企業努力では吸収しきれない各種コストの大幅な上昇を受け収益面でも厳しい状況となっており、やむを得ず再度2022年10月1日より5～15%の価格改定を行うこととしております。

#### [加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底により収益力が弱いアイテムの改廃を進めているなか、本年3月発売のカップ入りタイプのオートミール4品の拡販に注力し加工食品全体を下支えしてまいりました。一方、即席カップみそ汁や同スープ関係は既存品の拡販に努めましたが、売上高は10億5千8百万円（同7.0%減）となりました。

#### [その他食料品]

その他食料品の売上高は10億1千5百万円（同6.2%増）となり、主力の医療用食材や大豆素材の商品が好調に推移いたしました。しかし、この分野でも製造コストが急速かつ大幅に上昇してきており、収益の圧迫を余儀なくされております。そのため医療用食材についてもやむを得ず2022年10月1日より価格改定を行うこととしております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べて1億1千6百万円増加し96億9千5百万円(前連結会計年度比1.2%増)となりました。主な増減としましては、増加要因として、現金及び預金の増加2億3千1百万円、棚卸資産の増加9千6百万円があり、減少要因として、受取手形及び売掛金の減少6千7百万円、有形固定資産の減少5千2百万円や投資有価証券売却による投資有価証券の減少8千3百万円などがありました。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ1億3千4百万円増加し21億6千2百万円(同6.6%増)となりました。増加要因として、支払手形及び買掛金の増加1億2千1百万円や長期借入金の増加5千万円があり、減少要因としては、未払法人税等の減少1千7百万円などがありました。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ1千8百万円減少し75億3千3百万円(同0.2%減)となりました。増加要因として、譲渡制限付株式報酬制度による自己株式の減少2千万円などがあり、減少要因としては、株式配当金の支払などによる、利益剰余金の減少9千9百万円などがあったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ1.2ポイント減少し77.1%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の増加は2億5千4百万円(前第2四半期連結累計期間2億8千9百万円の増加)であります。

資金の増加の主な要因は、投資有価証券売却益3千5百万円や未払消費税の減少額3千5百万円、棚卸資産の増加8千9百万円などがあったものの、減価償却費で2億5千2百万円の計上、仕入債務の増加額1億2千2百万円などがあったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は9千9百万円(同5千3百万円の減少)であります。

資金の減少の主な要因は、投資有価証券の売却による収入で9千4百万円の増加があったものの、定期預金の預入による支出と定期預金の払戻による収入の増減差額で6千4百万円の減少や有形固定資産の取得による支出1億1千9百万円があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は2千1百万円(同1億3千9百万円の減少)であります。

資金の減少の主な要因は、長期借入金の増加により2億7千万円増加したものの、長期借入金の返済による支出2億1千5百万円、配当金の支払額6千2百万円があったことによるものです。

以上により当第2四半期連結累計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ1億6千6百万円増加し、10億1千1百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点での業績が低調に推移しておりますが、各種コストのさらなる削減、価格改定など今後の業績改善施策により通期の業績達成を目指します。なお、昨今の経営環境の変化や新型コロナウイルス感染症による業績への影響などは依然不透明な状況が続いております。現時点において、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想は変更しておりませんが、今後修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,980,330	2,211,382
受取手形及び売掛金	1,431,530	1,364,053
棚卸資産	968,633	1,065,151
その他	83,820	91,179
貸倒引当金	△6,626	△5,727
流動資産合計	4,457,687	4,726,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,947,657	5,995,037
減価償却累計額	△4,757,404	△4,829,354
建物及び構築物（純額）	1,190,252	1,165,682
機械装置及び運搬具	7,004,696	7,114,297
減価償却累計額	△5,747,346	△5,884,356
機械装置及び運搬具（純額）	1,257,350	1,229,941
土地	1,703,573	1,703,573
リース資産	210,279	216,293
減価償却累計額	△161,075	△167,091
リース資産（純額）	49,204	49,201
建設仮勘定	20,567	11,727
その他	471,594	493,187
減価償却累計額	△390,799	△403,722
その他（純額）	80,795	89,464
有形固定資産合計	4,301,743	4,249,592
無形固定資産	162,816	150,638
投資その他の資産		
投資有価証券	610,122	526,549
繰延税金資産	4,249	3,091
その他	43,056	39,988
投資その他の資産合計	657,428	569,629
固定資産合計	5,121,988	4,969,860
資産合計	9,579,676	9,695,899

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	578,860	700,443
短期借入金	386,231	389,923
リース債務	24,556	22,923
未払金	236,271	239,703
未払法人税等	41,801	23,830
賞与引当金	52,041	47,906
設備関係支払手形	37,858	56,513
その他	154,800	118,828
流動負債合計	1,512,422	1,600,072
固定負債		
長期借入金	362,266	412,740
リース債務	29,649	31,423
長期未払金	39,457	39,742
繰延税金負債	28,759	22,056
資産除去債務	48,179	49,044
その他	7,050	7,050
固定負債合計	515,361	562,056
負債合計	2,027,783	2,162,129
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,255,143	4,155,647
自己株式	△120,869	△100,229
株主資本合計	7,384,541	7,305,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,386	△17,864
為替換算調整勘定	118,430	183,215
その他の包括利益累計額合計	112,044	165,350
非支配株主持分	55,306	62,733
純資産合計	7,551,892	7,533,770
負債純資産合計	9,579,676	9,695,899

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,856,381	3,761,784
売上原価	2,754,163	2,788,660
売上総利益	1,102,218	973,124
販売費及び一般管理費	1,031,498	1,052,572
営業利益又は営業損失(△)	70,719	△79,447
営業外収益		
受取利息	1,862	1,686
受取配当金	8,600	9,419
受取賃貸料	2,361	2,317
受取保険金	667	1,082
受取技術料	15,451	19,919
補助金収入	-	1,083
雑収入	3,539	4,323
営業外収益合計	32,482	39,832
営業外費用		
支払利息	2,455	1,819
賃貸収入原価	3,366	2,673
雑損失	489	3,197
営業外費用合計	6,311	7,689
経常利益又は経常損失(△)	96,891	△47,304
特別利益		
固定資産売却益	2,349	299
投資有価証券売却益	-	35,030
特別利益合計	2,349	35,329
特別損失		
固定資産除却損	5,091	1,599
投資有価証券評価損	3,828	-
特別損失合計	8,919	1,599
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	90,321	△13,573
法人税、住民税及び事業税	17,650	11,625
法人税等調整額	2,318	8,259
法人税等合計	19,969	19,884
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70,352	△33,458
非支配株主に帰属する四半期純利益	843	229
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	69,508	△33,687

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70,352	△33,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,535	△11,478
為替換算調整勘定	39,652	71,982
その他の包括利益合計	69,188	60,504
四半期包括利益	139,541	27,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,731	19,618
非支配株主に係る四半期包括利益	4,809	7,427

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	90,321	△13,573
減価償却費	261,863	252,322
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24	△1,429
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,509	△4,134
受取利息及び受取配当金	△10,463	△11,106
支払利息	2,455	1,819
固定資産売却損益(△は益)	△2,349	△299
固定資産除却損	5,091	1,599
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△35,030
投資有価証券評価損益(△は益)	3,828	-
売上債権の増減額(△は増加)	43,381	71,983
棚卸資産の増減額(△は増加)	△147,453	△89,411
仕入債務の増減額(△は減少)	88,621	122,518
未払金の増減額(△は減少)	△22,012	△2,079
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,577	△35,366
その他	△3,116	13,873
小計	307,259	271,685
利息及び配当金の受取額	10,378	11,109
利息の支払額	△2,502	△1,847
法人税等の支払額	△25,895	△26,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,240	254,003
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,267,424	△1,094,545
定期預金の払戻による収入	1,445,684	1,029,942
有形固定資産の取得による支出	△220,997	△119,702
有形固定資産の売却による収入	2,350	310
無形固定資産の取得による支出	△12,510	△9,761
投資有価証券の取得による支出	△2,032	△1,858
投資有価証券の売却による収入	-	94,921
貸付金の回収による収入	1,175	-
その他	612	765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,143	△99,928
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	200,000	-
長期借入れによる収入	-	270,000
長期借入金の返済による支出	△262,482	△215,834
リース債務の返済による支出	△13,986	△12,634
自己株式の取得による支出	-	△183
配当金の支払額	△62,688	△62,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,156	△21,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,504	33,705
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	116,445	166,449
現金及び現金同等物の期首残高	925,681	845,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,042,127	1,011,804

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	売上区分			合計
	凍豆腐	加工食品 (即席みそ汁等)	その他食料品	
一時点で移転される財	1,762,601	1,138,020	955,759	3,856,381
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	1,762,601	1,138,020	955,759	3,856,381
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,762,601	1,138,020	955,759	3,856,381

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	売上区分			合計
	凍豆腐	加工食品 (即席みそ汁等)	その他食料品	
一時点で移転される財	1,687,973	1,058,552	1,015,258	3,761,784
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	1,687,973	1,058,552	1,015,258	3,761,784
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,687,973	1,058,552	1,015,258	3,761,784

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。